

学びの夏がやってきました！ 府立人研夏季セミナーへ！



夏季セミナー特集 すべての児童・生徒の未来につながる「学力」を

府立人研だより

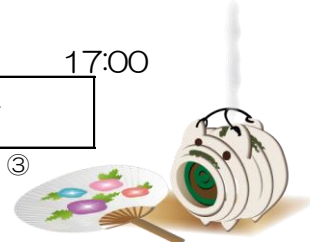
第5号 訂正版

大阪府立学校人権教育研究会
事務局

2016年6月28日 発行

7月27日（水）第1日

	9:30	10:00	12:30	13:30	14:00	17:00
内容	受付	全体会	休憩	受付	分科会	
会場		① 大阪コロナホテル			各分科会場 ③	



第1日 午前 全体会

7/27
(水)

全体会

10:00
|
12:30

第①会場

大阪コロナ
ホテル

講演：「自分を好きになる力・自分を活かそうとする力」
講師：土田光子さん（大阪教育大学）

教育の目標の一つは子どもの自立です。自立とはなんでも一人でやろうと孤立することではありません。困った時は助けを求め依存する力も含め、社会の様々な人間関係の中でうまく位置付き、お互いの足りないところを補い合いながら、他者と共生していく力を持った人間になるということです。そのためには互いに尊重しあえる人間関係が基礎になります。

学校で子どもが成長していくためには、まず学校が自分がいてもよいと思える安心できる場であること、そして自分を成長させようと思え、かつ切磋琢磨しあえる場であることが重要ですが、さらに今日では異なる文化や背景のある他者と協働できることの重要性もクローズアップされてきています。これらはみな自他を尊重しあえる人間関係をどう築けるかという課題であり、人権教育が目指し実践してきた集団づくりの課題そのものでもあります。

今回講師にお招きした土田光子さんは、長年八尾市の中学校で集団づくりの実践を積み重ねてこられた方で、講演では集団の中で生徒が育つこと力の強さと重要性についてお話しいただき、高校・高等部における集団づくりの課題について考えていくきっかけにしたいと思います。

◆会場周辺地図◆

① 大阪コロナホテル
(JR「新大阪」駅東口から北東へ約200m)

② 大阪府立東淀川支援学校
(阪急京都線「崇禅寺」駅から
北西へ約400m)

*体育館シューズをご持参ください。

③ 大阪府立柴島高等学校
(阪急京都線「崇禅寺」駅から南へ約300m)
(阪急千里線「柴島」駅から西へ約300m)

*スリッパをご持参ください。



7/27
(水)
分科会

第1セミナー <<教材部会>>

第③会場 柴島高校

「いま、生徒と共に考えるハンセン病
～差別を生き抜いた命のメッセージ～」

講師：市竹裕さん（株式会社 人と夢 代表）、旭堂南舟さん（講師）
報告：松原高校

14:00
|
17:00

「それでもやっぱり、生きていてよかった」、ハンセン病の元患者の言葉からこの歴史を未来へ伝えていかねばならない、と確信された市竹裕さん。国立ハンセン病療養所「長島愛生園」を舞台にした講談「風の鳴る丘」の台本を書かれました。その想いをお聞きすると共に、その熱意に触れ、公演を行っている旭堂南舟さんの講談も実際に披露していただきます。

その後、府立松原高校から、「産業社会と人間」の「ジャンル別活動」の1つとして、ハンセン病について学び取り組みを報告していただきます。ハンセン病を未来に伝えていくために何ができるのか、考えていきたいと思えます。



第2セミナー <<ケーススタディ部会>>

第③会場 柴島高校

「新しい生徒支援の可能性を探る
～今こそ求められる支援学校と高等学校の連携～」

報告：枚方なぎさ高校、寝屋川支援学校

ここ数年、ケーススタディ部会では、高等学校での生徒支援について研究を進めています。今年の第1回の研究部会では、個別の教育支援計画について、支援学校から報告を受け、高等学校と支援学校の教員が交流しました。そこで明らかになったのは、校種が違っていても生徒支援という一点で両者の連携は可能であり、その連携を通してお互いに学ぶことがあるということでした。夏季セミナーでは、実際に連携して生徒支援に取り組んでいる高等学校と支援学校から報告を受け、両者につながることで生まれる、新しい生徒支援の可能性について考えたいと思えます。

第3セミナー <<進路保障部会>>

第③会場 柴島高校

「児童虐待の深部——私たちに何ができるのか」

講師：岸辺護さん（読売新聞大阪本社 編集局 社会部）

児童虐待の問題に向き合うとき、私たちは、虐待が子どもたちの心に与える深い傷とそのケア、親としての育て方、その背景にある貧困や無関心など、多岐にわたる課題があることに気づきます。こうした現状を紹介するとともに、苦しむ子どもたちを一人でも減らすために何ができるのか、一緒に考えてみましょう。後半は、インターネット社会のいま、「新聞」に課せられている役割や、新聞社が取り組んでいること、新聞と教育の関わりについても触れたいと思えます。

7/27

<<校長部会>>

第③会場 柴島高校

14:00
|
17:00

「18歳選挙権を真に生かすための主権者教育（シティズンシップ教育）とは
～マイノリティからの視点も含めて～」

講師：杉浦真理さん（立命館宇治中学校・高等学校）
金光敏さん（コリアNGOセンター）

選挙に至るまでの、「社会の出来事を自分のこととして引き受け、判断する」ためにどのような手法が可能なのか、会場とともに考えます。また、選挙権を持たない立場の生徒、また支援学校でどのような取り組みをすればよいのかについても考えていきたいと思えます。



大阪府立学校人権教育研究会

〒533-0024 大阪市東淀川区柴島1丁目7番106号 府立柴島高等学校内

※送便には「府立人研」とお書きください（番号なし）

TEL・FAX 06-6324-3822（直通）

★お電話は、火曜日をお願いします。

E-mail furitsujinken@nifty.com

お問い合わせには、できる限りE-mailをご利用ください。

※ホームページが移転しました。新URLは下記の通りです。

<http://furitsujinken.in.coocan.jp/>

府立人研 2016 夏季セミナーの参加申し込みについては、「開催要項」と同時に各校に発送しております。参加申込用紙にご記入のうえ、送送便または電子メール furitsujinken@nifty.com にて、事務局に送付してください。

7月28日(木) 第2日

9:30 10:00 12:00 13:00 13:30 15:00 15:20 17:00

内容	受付	全体会	休憩	受付	分科会 (第1部)	休憩 移動	分科会 (第2部)
----	----	-----	----	----	--------------	----------	--------------

会場 ③柴島高校視聴覚室 各分科会場②、③

第2日 午前 全体会

7/28
(木)

全体会
10:00

12:00

第③会場
柴島高校
視聴覚室

「アクティブラーニングの手法で就労支援！ 好奇心に火をつける『学ぶ』と『働く』のデザイン」 講師：島田彩さん（NPO法人スマイルスタイル理事）

スマイルスタイルは、企業デザイン・公共デザイン・教育デザインの3つの領域を軸に、クライアントとなる企業や行政の経営課題・事業課題に取り組まれています。大阪府より委託を受けているハローライフも展開しています。これは、若者就労支援事業での研究や実践が起源となり、スマイルスタイルが独自開設した就労就業支援施設で、職業安定所の民間版です。若者就労・就業の現場で求められる理想の支援の在り方について、若者や企業、専門家など多くの方と議論や検討を重ね実現しました。「働く」「仕事」の情報発信基地として、「働くことに前向きになれ」、と笑顔・活力につながる情報やサービスを展開しています。

今回は多くの事業プロジェクトに関わっている経験を通じて、感じられている想いについて、アクティブラーニングの手法を交えて就労支援に取り組んでいる島田さんにお話しいただきます。昨今の若者の進路選択での悩み、就労後の現状等に触れ、学校現場での「生徒たちに必要なものは何か?」「社会に求められているものは何か?」を学びたいと思います。

第2日 午後 分科会人権教育実践・入門セミナー

7/28
(木)

分科会
第1部

(前半)

13:30

15:00

第1工房 <障がい者教育> ※第II部(後半)と内容が異なります。

第②会場 東淀川支援

「障がいのある人のスポーツの実際 ～知的・発達障がい児・者へのスポーツを通じた支援～」※講演とワーク 講師：角正真之さん・吉田裕実さん・福嶋尊史さん (社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会)

「合理的配慮」が今年度より始まり、現場ではさまざまな対応が行われています。制度も年々変化し、障がいのある方が利用するサービスも現在はさまざまです。そこで、障がい者スポーツセンターで行われている支援の様子を知り、そこでノウハウを現場に活用できるよう企画をしました。利用者の皆さんはスポーツセンターでの活動を通じて、QOLの充実を図っています。多種多様な利用者が満足するサービスとは何か? 学校とは違った一面を知り、今後の支援に役立てていただけたらと思います。

第2工房 <性と人権> ※第II部(後半)と内容が異なります。

第③会場 柴島高校

「メディアのなかのジェンダー、メディア・リテラシー ～『問い』を持って向き合うために～」 講師：西村寿子さん(とよなか男女共同参画推進財団事務局長)

メディア・リテラシーの研究をされている西村寿子さんを講師にお迎えし、メディアの中のジェンダーについてお話を伺います。日頃何気なく接しているメディアの固定的な役割の押し付けに気づき、どのように生徒に返していけばいいのか、みなさんと一緒に考えたいと思います。

第3工房 <外部連携>

第③会場 柴島高校

「若者支援のための高校とNPOの新しい連携のかたち」 講師：今井紀明さん(認定NPO法人D×P理事長)

「D×P」が高校の中で行う授業では、さまざまな経験を持つ人たちが教員とは違う「大人」「先輩」として授業に入り、生徒たちとの人間関係づくりを大切にしながら、生徒たちが成功体験を得られるような活動に導いていきます。生徒たちは多様な活動を通じて自分のしたいことを見つけ、進路を切り拓く力を身に付けていきます。若者を取り巻く状況が厳しい現在、なかなか自分で将来設計をできない生徒が多くいる中、NPOと学校が連携して若者を支援するために何ができるのか、NPO側と学校側と一緒に考えたいと思っています。

第4工房 <情報と人権> ※第I部(前半)・第II部(後半)とも同じ内容です。

第③会場 柴島高校

「教員が知っておきたいネットと人権」 報告：府立人研「情報と人権」チーム

教員の中にもSNSを使う人が増えてきました。しかし、使い方によっては学校の信頼を失うことにもつながりかねません。生徒との連絡にメールや通信アプリを使うのはOKorNG?! 書き込み・つぶやきで留意しなければいけないことはどんなこと? この写真、アップしてもいいの? 具体的な例を挙げながら、教員が知っておきたいネットと人権について考えていきます。



15:00 — 15:20 休憩・移動

7/28
(木)
分科会
第2部
(後半)
15:20
|
17:00



第5工房 <障がい者教育> ※第1部(前半)と内容が異なります。

第②会場 東淀川支援

「障がいのある人のスポーツの実際」～体験を通して～ ※実技体験

講師：角正真之さん・吉田裕実さん・福嶋尊史さん

(社会福祉法人 大阪市障害者福祉・スポーツ協会)

障がい者スポーツセンターで実際に行われている、障がいがある・なしに関わらずみんなが楽しむための工夫とは？
競技用車椅子を使っの車椅子バスケットボール、ポッチャやフライングディスクの体験をします。

※体育館シューズをご持参ください。

第6工房 <性と人権> ※第I部(前半)と内容が異なります。

第③会場 柴島高校

「自分らしく学べる教室にするために ～ジェンダーの視点で考える～」

報告：府立人研「性差別撤廃教育」チーム

私たちの普段の何気ない言動で居心地の悪い思いをしたり、傷ついたりしている生徒がいることを、学校現場のさまざまな事例について交流しながら、女だから/男だからということではなく、一人ひとりの生徒を大切にできる教室づくりについて考えてみましょう！

第7工房 <多文化教育>

第③会場 柴島高校

「考えてみませんか？ 多文化な背景を持つ子どもへの『対応』」

報告：府立学校

外国籍、外国にルーツのある生徒が府内の多くの学校に入学している現在、生徒たちが自らのルーツに誇りをもち、生き生きと日々を過ごすために私達には何ができるでしょうか。日常のふとした瞬間に、生徒からルーツについて打ち明けられたら…どのように応えればよいのか？ その子のルーツを大切にするためには、その後どんなふうに関わっていけばよいのか？ 今回はワークとしてそんな想定でのロールプレイをしていただき、その後実際に外国にルーツのある生徒がいる学校から、日々の実践を報告していただきます。一人ひとりのルーツを大切にできる学校づくりをめざして、一緒に考えてみませんか？

第8工房 <情報と人権> ※第I部(前半)・第II部(後半)とも同じ内容です。

第③会場 柴島高校

「教員が知っておきたいネットと人権」

報告：府立人研「情報と人権」チーム

教員の中にもSNSを使う人が増えてきました。しかし、使い方によっては学校の信頼を失うことにもつながりかねません。

生徒との連絡にメールや通信アプリを使うのはOK or NG?! 書き込み・つぶやきで留意しなければいけないことはどんなこと？ この写真、アップしてもいいの？ 具体的な例を挙げながら、教員が知っておきたいネットと人権について考えていきます。

7/28
(木)
14:30
|
17:00

<<教頭部会>>

第③会場 柴島高校

「生徒の将来に向けた地域との連携 ～社会資源の活用について～」

高校での通級制度が始まろうとしています。また「個別の支援(教育)計画」が学校から社会にいたる、生涯にわたって子どもを支援するものになりつつあります。

支援や配慮を必要とする生徒の進路保障や自己実現のために、「どのような社会の制度があるのか、どのように活用していけばよいのか」を、公立校へのサポートや障がい児の家族に向けた支援の経験が豊富な新澤信子さんに講演していただきます。

講師：新澤伸子さん (梅花女子大学 心理こども学部心理科教授)

府立人研 大阪府立学校人権教育研究会 今後の予定

8月 4日(木) 5日(金) ファシリテーション工房
8月19日(金) 若手工房
10月 7日(金) 第2回 研究部会
11月 3日(木・祝) ヒューマンライツフォーラム2016

府立人研へのお問合せは…

TEL・FAX
06 - 6324 - 3822

E-Mail
furitsuJinken@nifty.com